

# 皆様のお声

記入日 平成 11月 4日

イニシャル	Z. T	年齢	85	性別	男 <input checked="" type="radio"/> 女
-------	------	----	----	----	--------------------------------------

来院時の症状	座骨神経痛と診断され、杖をついても歩くのが辛く、車椅子 使用を考えると「はらぬか」と不安だった。 (病院の痛み止め薬、ブロック注射を重ゆわにも不安)
--------	--

## 【ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい】

- ① 三年以上 通い続けているのは、治療効果がはっきり見えていること。
- ① 八十五歳で急カ危突、元気に動けること、  
 ・足の痛みで歩くのも辛かったのが、今は背筋を伸ばしてサッサと歩けるようになった。  
 (音信号の横断歩道を半分も歩きたりしたのが、今は2回半も歩ける実感済み)  
 腰の痛みがもう、すっかり忘れて毎日存分に動いている (動きすぎると急に注意される)
- ② はり・灸を怖がる私に、西洋医学のような即効性はないが、じっくり時間をかけて  
 体を整えていくのが東洋医学であることと二者の違いをわかりやすく説明して下さい。治療の仕方  
 使用するはり灸のほどを提示されたこと、これに納得、おまかせしようと思えた。 ~~おかげで~~  
~~体がよくなったと実感できている~~
- ③ 治療室全体が先づの心づかいで暖かい。(気配はり)  
 ・はじめとおわりの先至りの憂かけ。  
 ・ゆきとどいた心づかい。(せきをするとき水と、汗がひどいときはタオルを貸す)  
 ・先至全員が平気な体を知らせて下さっていると「安心感」  
 以上治療プラス心の字らぎとなって、往後 25分かかる道と歩き続けている  
 時間をかけて、体を整えていくとおっしゃる先至のお言葉を実感している  
 今日此の頃です。これからもう世治になっていくつもりです
- もぐさの事 (もう一言)  
 大、小のもぐさのお灸が ~~あつた~~ 大きいお灸の時 あつたばかりかかたら合図するついで  
 が、そろそろ暖かくなったかと言おうとすると、大い先至から「そろそろ」と声がかかる。  
 タイミングがあまりよいので、どうしてわかるのかと伺うと、ご自分の振子もぐさは自分で調整  
 するので、熱くなる頃がわかるのだと、ますます信頼が深まるゆえ。

【皆様のお声としてホームページに掲載してもよろしいでしょうか】

- ① はい  
 ② いいえ

ご協力ありがとうございました。